

特定非営利活動法人アイ・エス・オー有効活用センター
2023年度 総 会 次 第

日 時 : 2023年5月27日(土) 16:00~17:00
会 場 : ZoomによるWEB総会(各自のPCにて参加)

I. 2023年度 総会

1. 開会の辞

2. 議長選出

3. 議 事

第1号議案 2022年度 事業報告承認の件

第2号議案 2022年度 事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の件

第3号議案 2023年度の事業計画承認の件

第4号議案 2023年度の活動予算書承認の件

第5号議案 議事録署名人の選任の件

4. 議長解任(閉会宣言)

なお、懇親会は、コロナウイルスの感染防止のため中止する。

第 1 号議案 2022 年度 事業報告承認の件

別紙資料参照

第 2 号議案 2022 年度 事業収支計算書、財産目録、貸借対照表

別紙資料参照

第 3 号議案 2023 年度の事業計画承認の件

別紙資料参照

第 4 号議案 2023 年度の収支予算書承認の件

別紙資料参照

第 5 号議案 議事録署名人の選任の件

出席会員の中から議長の氏名により、竹内 肇氏、正木 準氏の 2 名の選出を行う。

第1号議案 2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業期間

2022年（令和4年）4月1日 ～ 2023年（令和5年）3月31日

II 事業の成果

設立21年目として、ISOマネジメントシステムの普及、運用、企業支援活動を中心に展開してきた。新型コロナウイルスの影響に伴い、セミナー事業は、ZoomによるWeb研修会となり、2回実施できたが、監査事業が実施できなかった。

正会員の拡大はなかった。滋賀県環境保全協会との連携研修は、コロナ禍の状況もあり、自粛傾向が続いたが、会員による支援連携活動が継続できた。

組織運営に関して定例理事会は、コロナ禍の感染防止からZoomによるWEB会議となり、例年通り6回開催した。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

無料WEB研修会が2回実施した。

(2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】コロナ禍の状況により、実現はしなかった。

・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】新規のコンサル指導等は実現しなかった。

(3) ISO監査事業

1) 【内 容】第三者による内部監査代行（ISO14001、ISO9001）

【実施場所】コロナ禍の影響で実施できなかった。

2) 【内 容】自己宣言型ISOの認定及び認定更新

【実施場所】新規及び継続の自己宣言型運用検証監査は無かった。

IV 社員総会の開催状況

2022年度総会は、2022年5月21日（土）に長岡京市のバンビオ1番館会議室3で実施した。コロナ禍での感染防止対策に留意して書面表決も含め15名（正会員21名の内）が参加し（委任状3名）、2021年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、2022年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の土曜日にWEB理事会として以下の日程で実施した。

2022年度

第1回	2022.04.16(土)	20:00~21:45	ZoomによるWEB会議
第2回	2022.06.25(土)	20:00~21:15	ZoomによるWEB会議
第3回	2022.08.27(土)	20:00~21:30	ZoomによるWEB会議
第4回	2022.10.22(土)	17:00~19:00	ZoomによるWEB会議
第5回	2022.12.24(土)	17:00~18:00	ZoomによるWEB会議
第6回	2023.02.18(土)	17:00~18:30	ZoomによるWEB会議

第2号議案 2022年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2022年4月 1日 から 2023年 3月31日 (単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差 違	備 考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	0	50,000	-50,000	入会者なし
賛助会員入会金収入	0	60,000	-60,000	入会者なし
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	0	0	0	
コンサル事業		0	0	
監 査 事 業	0	250,000	-250,000	内部監査代行事業、検証監査事業もなし
4 その他収益				
受取利息	6	0		銀行利息
雑収入				
当期経常収益 合計(A)	6	360,000	-359,994	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	20,000	190,000	-170,000	研修会講師代(岸1万円、正木1万円)
(2)その他経費				
会議費	0	10,000	-10,000	Zoom研修会会場費なし
旅費交通費	0	50,000	-50,000	Zoom研修会で交通費なし
広報費	19,880	60,000	-40,120	さくらレンタルサーバー料、HP更新料
印刷費	0	0	0	
事務費	0	20,000	-20,000	
通信費	0	10,000	-10,000	
支払手数料等	627	5,000	-4,373	振込手数料
その他経費 計	20,507	155,000	-134,493	
事業費 計	40,507	345,000	-304,493	
2 管理費				
(1)人件費	0	0	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	840	15,000	-14,160	総会会場費、理事会はZoomで会場費等なし
旅費交通費	1,100	40,000	-38,900	手続き交通費(西田)
印刷費	0	5,000	-5,000	
事務費	0	5,000	-5,000	
通信費	740	5,000	-4,260	会計監査関連郵送費
支払手数料	0	5,000	-5,000	振込手数料
その他経費 計	2,680	75,000		
(3) 予備費	0	40,000	-40,000	
管理費 計	2,680	115,000	-112,320	
当期経常費用 合計(B)	43,187	460,000	-416,813	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	-43,181	-100,000		
III 経常外収益				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)		0		
IV 経常外費用				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)		0		
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	-43,181	-100,000		
前期繰越正味財産額	714,672	714,672		
次期繰越正味財産額	671,491	614,672		

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2023年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金 UFJ銀行	671,491		
未収金	0		
流動資産合計		671,491	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			671,491
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			671,491

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2023年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金	67,149		
未収金	0		
流動資産合計		67,149	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			67,149
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
3 正味財産の部			
前期正味財産		714,672	
当期正味財産増加額		-43,181	
正味財産合計			671,491
負債及び正味財産合計			671,491

第3号議案 2023年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業の実施方針

- ・ 2023年度は、事務局状況とコロナ禍での対応に留意し、現状維持的な活動とする。また、企業への支援は要請を受けて取り組む。
- ・ 事業活動としては、3蜜を避けた行動に留意して、ZoomによるWEBセミナーを展開する。また、自己宣言型運用の支援を重点として取り組む。ISO以外の企業ニーズに合致した課題は要請を受けて支援活動を検討する。
- ・ 滋賀県環境保全協会等の団体と連携し、運用支援を継続する。内部監査員の新規格スキルアップ研修会、ISOのスリム化、運用効果の向上は、要請を受けて実施する。
- ・ また、SDGs、省エネ活動、廃棄物削減、危険物・化学物質管理、法令管理、事業継続、災害対応等の課題は、ISO関連分野と位置づけ要請を受けて支援する。
- ・ 理事会開催は、事務局状況に留意して、開催回数を年4回とする。理事会、正会員の高齢化等に関連して事業継続、事務局体制の維持が議論になっている。今後のNPO活動の在り方や事務局体制、事業展開の方向など継続して検討する。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

【内 容】無料の課題、関心分野の研修会、交流会

【実施日時】随時実施予定（概ね6回）

【事業の対象者】企業のISO担当者、内部監査員、経営改善に興味のある方

【収 入】 0円

【支 出】 講師料6万円（無料研修会6回6万円）

Zoomによる研修会とする。 計6万円

(2) コンサル事業

- ・ 無料ISO相談、無料省エネ診断等の支援

【内 容】移行・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、メールによる相談

【事業の対象者、方法】新規格移行の組織、団体：電話、メール相談

【収 入】 0円

【支 出】 交通費0万円

- ・ 企業支援

【内 容】ISOコンサル（移行更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】 0円

【支 出】 0円 コンサル事業は、原則会員に紹介し、会員個人の責任で実施

(4) ISO 監査事業

【内 容】 第三者による自己宣言型 I S O 認定は継続会員対象に 1 社目標

【実施場所】 要監査希望団体

【実施日時】 適時

【事業の対象者】 要監査希望団体

【収 入】 20 万円 (2 日/回) × 1 社 = 20 万円 (自己宣言 1 社)

認定書発行費用 5 万円 × 1 社 = 5 万円

合計 25 万円

【支 出】 講師料 1 社 12 万円(2 日/回) × 1 社 = 12 万円

交通費 2 万円 事務費 2 万円 通信費 1 万円

合計 17 万円

(5) 情報発信・広報事業

【内 容】 ISO 情報、企業関心事を HP に載せ、HP を更新して情報発信に努める。Zoom システムを導入して研修会、交流会等による情宣、広報の強化

【収 入】 0 円

【支 出】 3 万円 (レンタルサーバー使用料等 1 万円 HP 更新メンテ費 2 万円)

第4号議案 2023年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2023年 4月 1日から 2024年 3月31日 (単位 円)

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	0	50,000	-50,000	
賛助会員入会金収入	0	60,000	-60,000	
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	0	0	0	
コンサル事業	0	0	0	会員に委託
監 査事業	250,000	250,000	0	1社見込み
4 その他収益				
受取利息	6	0	6	前年度実績
当期経常収益 合計(A)	250,006	360,000	-109,994	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	180,000	190,000	-10,000	セミナー・監査講師料(研修会6回、自己宣言監査1回)
(2)その他経費				
会議費	0	10,000	-10,000	
旅費交通費	20,000	50,000	-30,000	更新監査用
広報費	30,000	60,000	-30,000	レンタルサーバー料等 HP更新メンテ費料
印刷費	0	0	0	
事務費	20,000	20,000	0	監査関連事務
通信費	10,000	10,000	0	監査関連通信
支払手数料等	5,000	5,000	0	振込手数料等
その他経費 計	85,000	155,000	-70,000	
事業費 計	265,000	345,000	-80,000	
2 管理費				
(1)人件費	0	0	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	5,000	15,000	-10,000	次年度総会用等
旅費交通費	5,000	40,000	-35,000	手続き交通費
印刷費	0	5,000	-5,000	
事務費	2,000	5,000	-3,000	事務用品等
通信費	3,000	5,000	-2,000	
支払手数料等	5,000	5,000	0	
その他経費 計	20,000	75,000	-55,000	
(3) 予備費	10,000	40,000	-30,000	
管理費 計	30,000	115,000	-85,000	
当期経常費用 合計(B)	295,000	460,000	-165,000	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	-44,994	-100,000	55,006	
III 経常外収益				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)	0			
IV 経常外費用				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)	0			
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	-44,994	-100,000		
前期繰越正味財産額	671,491	714,672		
次期繰越正味財産額	626,497	614,672		